



## 地域コミュニティの構築を 目指します！

八潮市コミュニティ協議会  
会長 原田 幸臣

八潮市コミュニティ協議会は、心のおれあう豊かで住みよい地域社会（コミュニティ）を構築することを目的に、八潮市コミュニティづくり推進協議会として、昭和54年に発足しました。市内にある全44の町会自治会から1～2名の方が委員として選出され、平成23年度は56名で活動しています。当協議会は、清潔で安全なまちづくり部会（清潔部会）と、活気ある楽しいまちづくり部会（活気部会）の2部会で構成され、各部会で事業を行っています。



活気部会では、毎年秋に「ふれあいどんぐりこままわし大会」を開催しています。委員の助言のもと、子どもたちはどんぐりにキリで穴をあけてこまを作り、夢中になってこまの回るタイムを競っています。こままわしを通して世代間交流が図られ、参加者からは大変好評をいただいています。同日に、地域の緑化を推進するため、大会に参加した大人に、苗木の配布も行っています。また、年度末には料理教室を開催する予定です。



その他、先進地視察研修や、講演会・研修会など地域コミュニティをより発展させるための学習を行っています。

委員は、協議会で学んだことを自身の町会自治会活動に生かし、更なる地域コミュニティの発展のため取り組んでいます。今後もさまざまな事業を通して地域コミュニティづくりを進めていきたいと考えています。  
（事務局）市民協働推進課 ☎ 328

## 事故防止について呼びかけ



12月5日、八潮駅周辺で、「冬の交通安全運動街頭キャンペーン」が行われました。

市内では交通事故が多発しており、平成23年は前年と比べて多くの尊い命が失われています。このため、八潮市交通安全対策協議会の皆さんが啓発品の配布を行いながら、高齢者や子ども、自転車の事故防止などについて呼びかけました。

一人ひとりが交通ルールと正しい交通マナーを身につけて実践しましょう。

## サンタさんと遊んだクリスマス



12月20日、だいばら児童館でクリスマス会が行われ、幼児と保護者111人の方が参加しました。

クリスマス会では、親子で飾りをつけた帽子を子どもたちが被り、親子で一緒にリズム遊びなどを行いました。

最後にサンタクロースが現れ、子どもたちは驚きの表情を浮かべていましたが、サンタクロースからプレゼントが渡され、会場内にはたくさんの笑顔があふれていました。また、音楽に合わせてサンタクロースと一緒に踊りながら楽しいひとときを過ごしました。

## 新鮮な八潮の旬の野菜が勢揃い



12月4日、やしお生涯学習館で、「八潮市制施行40周年記念事業第37回八潮市農業祭」が開催されました。

八潮で採れた新鮮な野菜、果物などを求めて、早朝から約2800人の方が来場しました。

また、今回の品評会には、187人の生産者から白菜・山東菜・小松菜・柿など478点の出品があり、すばらしい出来栄の品々は、あっという間に完売となりました。

## 健康長寿を願う



12月10日、八潮メセナで、「八潮市制施行40周年記念事業第5回やしお健寿のつどい」が開催されました。

この催しは、60歳を人生これからと再スタートを切る節目としてとらえ、以降70歳、80歳、90歳などのそれぞれの節目の年の方を健寿式としてお祝いするもので、対象者へ記念品が贈呈されました。

また、医学博士の田中聖英さんによる講演や地元で採れた野菜などを使って高齢者向けに調理された「健寿弁当」の会食なども行われ、会場は大いに盛り上がりしました。

いきいきやしお写真館